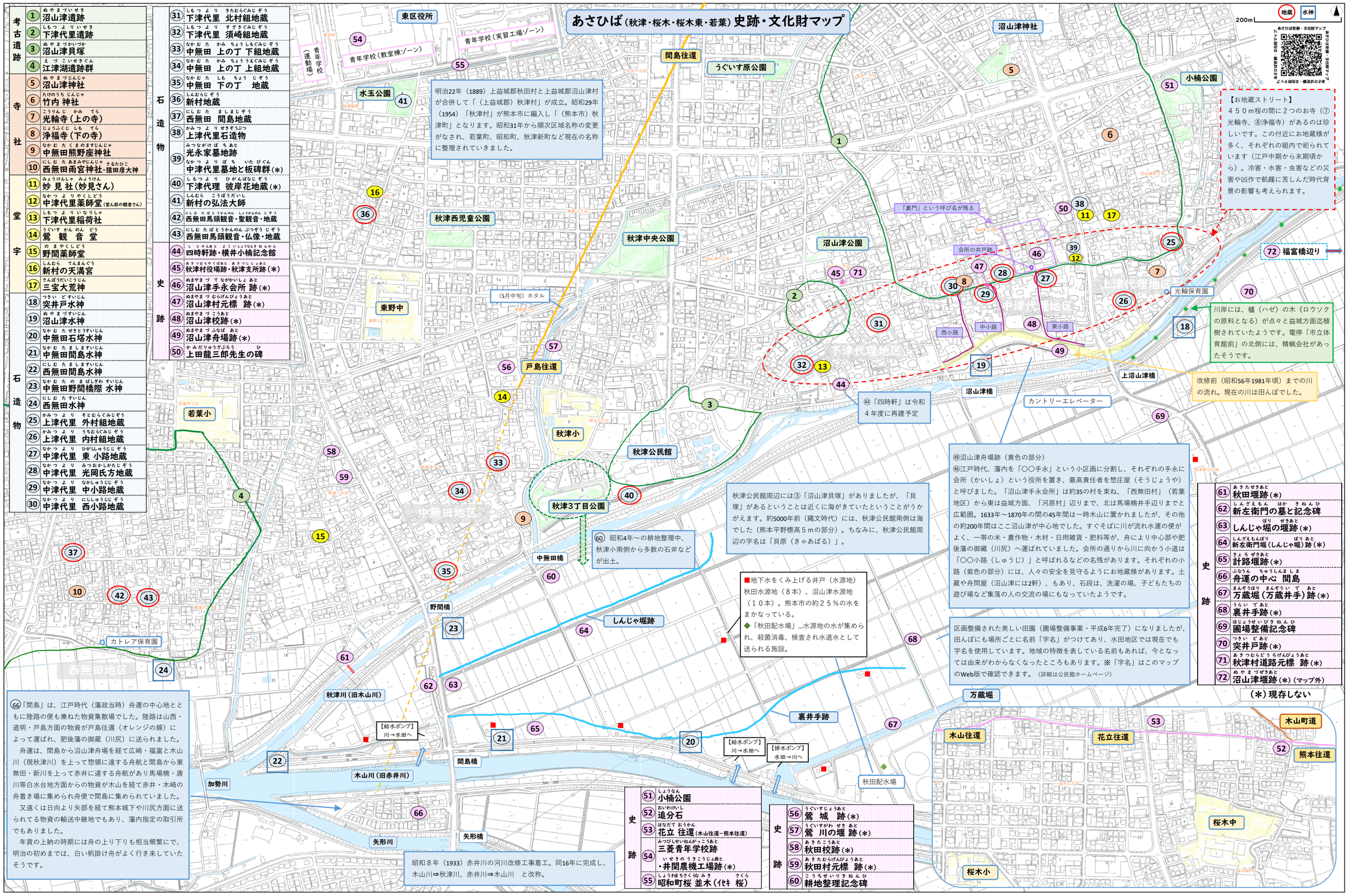
あさひば（秋津・桜木・桜木東・若葉）史跡・文化財マップ



明治22年（1889）上益城郡秋田村と上益城郡沼山津村が合併して「（上益城郡）秋津村」が成立。昭和29年（1954）「秋津村」が熊本市に編入し「（熊本市）秋津町」となります。昭和31年から順次区域名称の変更がなされ、若葉町、昭和町、秋津新町など現在の名称に整理されていきました。

【お地蔵ストリート】
４５０ｍ程の間に２つのお寺（⑦光輪寺、⑧浄福寺）があるのは珍しいです。この付近にお地蔵様が多く、それぞれの組内で祀られています（江戸中期から末期頃から）。冷害・水害・虫害などの災害や凶作で飢饉に苦しんだ時代背景の影響も考えられます。

川岸には、櫨（ハゼ）の木（ロウソクの原料となる）が点々と益城方面迄植樹されていたようです。電停「市立体育館前」の北側には、精蝋会社があったそうです。

改修前（昭和56年1981年頃）までの川の流れ。現在の川は田んぼでした。

㊹「四時軒」は令和４年度に再建予定

㊾沼山津舟場跡（黄色の部分）
㊻江戸時代、藩内を「〇〇手永」という小区画に分割し、それぞれの手永に会所（かいしょ）という役所を置き、最高責任者を惣庄屋（そうじょうや）と呼びました。「沼山津手永会所」は約35の村を束ね、「西無田村」（若葉地区）から東は益城方面、「河原村」辺りまで、北は馬場楠井手辺りまでと広範囲。1633年～1870年の間の45年間は一時木山に置かれましたが、その他の約200年間はここ沼山津が中心地でした。すぐそばに川が流れ水運の便がよく、一帯の米・農作物・木材・日用雑貨・肥料等が、舟により中心部や肥後藩の御蔵（川尻）へ運ばれていました。会所の通りから川に向かう小道は「〇〇小路（しゅうじ）」と呼ばれるなどの名残があります。それぞれの小路（紫色の部分）には、人々の安全を見守るようにお地蔵様があります。土蔵や舟問屋（沼山津には2軒）、もあり、石段は、洗濯の場、子どもたちの遊び場など集落の人の交流の場にもなっていたようです。

秋津公民館周辺には③「沼山津貝塚」がありましたが、「貝塚」があるということは近くに海がきていたということがうかがえます。約5000年前（縄文時代）には、秋津公民館南側は海でした（熊本平野標高５ｍの部分）。ちなみに、秋津公民館周辺の字名は「貝原（きゃあばる）」。

㊿ 昭和4年～の耕地整理中、秋津小南側から多数の石斧などが出土。

■地下水をくみ上げる井戸（水源地）秋田水源地（８本）、沼山津水源地（１０本）。熊本市の約２５％の水をまかなっている。
◆「秋田配水場」…水源地の水が集められ、殺菌消毒、検査され水道水として送られる施設。

区画整備された美しい田園（圃場整備事業・平成6年完了）になりましたが、田んぼにも場所ごとに名前「字名」がつけてあり、水田地区では現在でも字名を使用しています。地域の特徴を表している名前もあれば、今となっては由来がわからなくなったところもあります。※「字名」はこのマップのWeb版で確認できます。（詳細は公民館ホームページ）

㊻「間島」は、江戸時代（藩政当時）舟運の中心地とともに陸路の便も兼ねた物資集散場でした。陸路は山西・道明・戸島方面の物資が戸島往還（オレンジの線）によって運ばれ、肥後藩の御蔵（川尻）に送られました。
舟運は、間島から沼山津舟場を経て広崎・福富と木山川（現秋津川）を上って惣領に達する舟航と間島から東無田・新川を上って赤井に達する舟航があり馬場楠・唐川等白水台地方面からの物資が木山を経て赤井・木崎の舟着き場に集められ舟便で間島に集められていました。
又遠くは日向より矢部を経て熊本城下や川尻方面に送られてる物資の輸送中継地でもあり、藩内指定の取引所でもありました。
年貢の上納の時期には舟の上り下りも相当頻繁にで、明治の初めまでは、白い帆掛け舟がよく行き来していたそうです。

昭和８年（1933）赤井川の河川改修工事着工。同16年に完成し、木山川⇒秋津川、赤井川⇒木山川　と改称。

考古遺跡	①	沼山津遺跡（ぬやまづいせき）
	②	下津代里遺跡（しもつよりいせき）
	③	沼山津貝塚（ぬやまづかいづか）
	④	江津湖遺跡群（えづこいせきぐん）
寺社	⑤	沼山津神社（ぬやまづじんじゃ）
	⑥	竹内 神社（たけのうちじんじゃ）
	⑦	光輪寺（上の寺）（こうりんじ　かみてら）
	⑧	浄福寺（下の寺）（じょうふくじ　しもてら）
	⑨	中無田熊野座神社（なかむたくまのまずじんじゃ）
	⑩	西無田雨宮神社・猿田彦大神（にしむたあまみやじんじゃ　さるたひこ）
堂宇	⑪	妙 見 社（妙見さん）（みょうけんしゃ　みょうけん）
	⑫	中津代里薬師堂（なかつよりやくしどう）（堂ん前の観音さん）
	⑬	下津代里稲荷社（しもつよりいなりしゃ）
	⑭	鶯　観　音　堂（うぐいす　かん　のん　どう）
	⑮	野間薬師堂（のまやくしどう）
	⑯	新村の天満宮（しんむら　てんまんぐう）
	⑰	三宝大荒神（さんぽうだいこうじん）
石造物	⑱	突井戸水神（つきいどすいじん）
	⑲	沼山津水神（ぬやまづすいじん）
	⑳	中無田石塔水神（なかむたせきとうすいじん）
	㉑	中無田間島水神（なかむたましますいじん）
	㉒	西無田間島水神（にしむたましますいじん）
	㉓	中無田野間橋際 水神（なかむたのまばしぎわ　すいじん）
	㉔	西無田水神（にしむたすいじん）
	㉕	上津代里　外村組地蔵（かみつよりそとむらぐみじぞう）
	㉖	上津代里　内村組地蔵（かみつよりうちむらぐみじぞう）
	㉗	中津代里　東 小路地蔵（なかつよりひがしゅうじじぞう）
	㉘	中津代里　光岡氏方地蔵（なかつよりみつおかしかたじぞう）
	㉙	中津代里　中小路地蔵（なかつよりなかしゅうじじぞう）
	㉚	中津代里　西小路地蔵（なかつよりにしゅうじじぞう）

石造物	㉛	下津代里　北村組地蔵（しもつよりきたむらぐみじぞう）
	㉜	下津代里　須崎組地蔵（しもつよりすざきぐみじぞう）
	㉝	中無田　上の丁 下組地蔵（なかむたかみちょうしもぐみじぞう）
	㉞	中無田　上の丁 上組地蔵（なかむたかみちょううえぐみじぞう）
	㉟	中無田　下の丁　地蔵（なかむたしもちょうじぞう）
	㊱	新村地蔵（しんむらじぞう）
	㊲	西無田　間島地蔵（にしむたましまじぞう）
	㊳	上津代里石造物（かみつよりせきぞうぶつ）
	㊴	光永家墓地跡（みつながけぼちあと） 中津代里墓地と板碑群（＊）
	㊵	下津代理　彼岸花地蔵（＊）（しもつよりひがんばなじぞう）
	㊶	新村の弘法大師（しんむらこうぼうだいし）
	㊷	西無田馬頭観音・聖観音・地蔵（にしむたばとうかんのん　しょうかんのん　じぞう）
	㊸	西無田馬頭観音・仏像・地蔵（にしむたばとうかんのん　ぶつぞう　じぞう）
史跡	㊹	四時軒跡・横井小楠記念館（しじけんあと　よこいしょうなんきねんかん）
	㊺	秋津村役場跡・秋津支所跡（＊）（あきつむらやくばあと　あきつししょあと）
	㊻	沼山津手永会所 跡（＊）（ぬまやまづ　てながかいしょ　あと）
	㊼	沼山津村元標　跡（＊）（ぬまやまづむらげんびょうあと）
	㊽	沼山津校跡（＊）（ぬまやまづこうあと）
	㊾	沼山津舟場跡（＊）（ぬまやまづふなば　あと）
	㊿	上田龍三郎先生の碑（かみだりゅうざぶろう　ひ）

史跡	(51)	小楠公園（しょうなん）
	(52)	追分石（おいわけいし）
	(53)	花立 往還（はなだて　おうかん）（木山往還－熊本往還）
	(54)	三菱青年学校跡（みつびしせいねんがっこうあと） ・井関農機工場跡（＊）（いせきのうきこうじょあと）
	(55)	昭和町桜 並木（イセキ　桜）（しょうわまちさくらなみき　さくら）

史跡	(56)	鶯　城　跡（＊）（うぐいすじょうあと）
	(57)	鶯　川の堰 跡（＊）（うぐいすがわ　せき　あと）
	(58)	秋田校跡（＊）（あきたこうあと）
	(59)	秋田村元標　跡（＊）（あきたむらげんびょうあと）
	(60)	耕地整理記念碑（こうちせいりきねんひ）

史跡	(61)	秋田堰跡（＊）（あきたせきあと）
	(62)	新左衛門の墓と記念碑（しんざえもんはか　きねんひ）
	(63)	しんじゃ堀の堰跡（＊）（ぼり　せきあと）
	(64)	新左衛門堀（しんじゃ堀）跡（＊）（しんざえもんぼり　ぼり　あと）
	(65)	計路堰跡（＊）（けいろせきあと）
	(66)	舟運の中心　間島（ふなうん　ちゅうしんまじま）
	(67)	万蔵堀（万蔵井手）跡（＊）（まんぞうぼり　まんぞういで　あと）
	(68)	裏井手跡（うらいであと）
	(69)	圃場整備記念碑（ほじょうせいびきねんひ）
	(70)	突井戸跡（＊）（つきいどあと）
	(71)	秋津村道路元標　跡（＊）（あきつむらどうろげんびょうあと）
	(72)	沼山津堰跡（＊）（マップ外）（ぬやまづせきあと）

（＊）現存しない